

## 1. 特に効果的であり改善に資した事例について

### D. 産業界、地域社会等多様な社会部門と連携した人材養成機能の強化

#### ②産業界等、社会のニーズと大学院教育のマッチングを図るための企業等との教育連携

##### 《理工農系》

##### ●北海道大学生命科学院・生命科学専攻

##### 「融合生命科学プロフェッショナルの育成」の事例

(具体的に何を実施したのか)

「ブレインストーミングワークショップ」：分野の異なる博士後期課程の学生4～6名に企業研究者および大学教員が加わり、各自の専門とは無関係なテーマに関してブレインストーミング法を用いて新しい研究テーマの提案を行う。その結果は、参画企業の本社において部長級の関係研究者に対してプレゼンを行う。異なる研究分野の学生達がお互いの意見を交換させることで「社会連携力」、「企画展開力」の強化に加え、「専門力」の習得をも目指す、学生主体のワークショップを年度ごとに開催した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・包括連携企業の研究者の参加により実施した。
- ・学生メンバーは極力異なる研究分野から構成するようにした。
- ・企業から講師を招聘し、企画開発・マーケティングに関するレクチャーを行った。
- ・ワークショップ終了時には企業において学生による最終プレゼンを行った。これにより、提案テーマのレベルの高さを保持した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

参加した学生は、自らの専門分野以外においても活躍でき得るという認識を持つようになった。企業からも新しいテーマを最初に見る権利を持つこととした。また、参加学生、企業のみならず第三者からの評価も高く、事業終了後も博士後期課程のカリキュラムに推奨科目として加わることとなった。